

第2回東新町・小茂根地域交通意見交換会に対するご意見等（ご意見用紙）と事務局の考え方

参加者ご意見要旨	事務局の考え方
<ul style="list-style-type: none"> この地区は元気な高齢者が多いのではと思いました。現在でも困っている人たちには、それぞれ個別に対応できる、より小さな乗り物があれば良いかなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域には元気な高齢者の方が多く、小さな乗り物による対応可能性があるとのことご意見、貴重なお話として受け止めています。新たな交通手段の導入には運行コストや持続可能性、地域全体の交通ニーズも併せて検討する必要があります。次回、皆さんと共により多くの方に利便性を提供できる解決策を模索し、地域で持続可能な交通手段について検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> 特に高齢者にとっては、アンケートの設問が答えにくかったです。 アンケートは答えるのに迷ったり、問われている意味がわからないことがありました。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートにご協力をいただきありがとうございます。今回実施したアンケートの設問が難しいとのことご意見について、今後のアンケート作成において参考にさせていただきます。地域交通に関する貴重なご意見をより多く反映できるよう、わかりやすくご回答いただける設問を検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> 新たな交通手段の利用希望者は回答者の2割程度、有効な手段たり得るのか疑問。 それよりもやはりバスを減便させないための助成などを板橋区として実施することなどが有効な手だてではないかと考える。人員不足が深刻との説明であるが、その面（採用面）についても地域交通の維持の点より、区として協力、助成などの策を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな交通手段は、地域の中で、移動にお困りの方の利便性を高める視点で検討を行っております。一定の需要があるのであれば、地域にとって必要な移動手段と考えることもあります。 バスの減便は、運転士人数の減少のほか、労働時間規制により多くの運転士が必要になったことが原因で、全ての路線で実施されています。その中でも特に、利用者の少ない路線では減便の影響が大きく生じています。バス事業者は給与改定で処遇改善を図るなどを進めていますが、そのための原資は運賃収入となります。これ以上の減便を生じさせないために、既存のバス路線を皆さんでしっかり利用して守っていくことは非常に大切です。 また、民間のバス事業者がバスネットワークの再構築を図る可能性もあるため、引き続きバス路線が維持されることをバス会社に要望してまいります。

参加者意見要旨	事務局の考え方
<ul style="list-style-type: none"> 「新しい乗り物」の設問にコミュニティバスがない理由はなぜなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の東新町・小茂根地域の道路状況では、ほとんどの道路が小型のバスでさえも走ることができず、バスの運行ルートを描けないことが課題です。 ※現在、一般的にバスの運行ルートとなり得る道路は、センターラインの引いてある道路になります。 このことから、コミュニティバスの運行をアンケートの設問に加えることは断念している状況です。
<ul style="list-style-type: none"> 地域の地主の協力があれば乗合バス（ハイエース）も交通として利用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワゴン車やグリーンスローモビリティなどの規格の小さい車両を利用した乗合交通は、地域の道路事情も考慮すると最短で実証実験に結びつく交通手段と考えています。アンケート結果の解析から需要を確認させていただき、持続可能性などについて検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> よく調査している。 	<ul style="list-style-type: none"> このたびは区の調査に対し、温かいお言葉をいただき誠にありがとうございます。皆様のご意見が地域交通の改善への重要な指針となっております。
<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果の説明は、集計がすべて終了してからも良かったのではと思います。 回答数、意見などをリサーチしてから、今後の対応について考えていけるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の意見交換会でアンケートの一部の結果を速報としてお伝えしたのは、意見交換会で早期に議論を始め、皆様のご意見や考え方をお伺いすることで、より充実した議論ができると考えたためでした。 次回は、アンケートの最終的な集計結果をもとにしたより詳細な分析、それに基づいた利便性の向上についての検討を行います。
<ul style="list-style-type: none"> これからは一定の方向を決め、それでできるか否か、ダメなところがあればどうすれば良いか進めてほしい。基本は交通不便をどう解決するかなので。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局としても、バスの減便が続く中で交通の利便性維持を最優先に考えており、アンケート調査の結果を踏まえたうえで、全体のニーズに基づいた方向性を模索しています。いただいたご意見やアンケートをもとに、新たな交通手段のコース設定についてお示ししたいと考えております。

参加者意見要旨	事務局の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーGOなどの利用も議題にのせてもらえると嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーアプリの利用は、交通利便性向上の一つの選択肢として大変興味深い提案と感じております。 ・事務局としましては、他自治体での採用例もあり実現可能性は高いと考えていますが、導入にあたってはITリテラシーとクレジットカードなどによるキャッシュレス決済が課題になるかもしれません。
<ul style="list-style-type: none"> ・区が意図した意見交換会の内容にならなかったのではないかと。意見をjするシーンを限定しないと難しかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがたく頂戴します。意見交換会は、地域の皆様と交通に関する現状と課題を共有し、より良い交通環境を共に作り上げる場として開催しています。全ての参加者が公平に意見を述べられる場を提供するため、会場の発言だけではなく、ご意見用紙を通じてご参加の方からご意見を頂戴しています。 ・意見交換の機会をさらに充実させるため、参加者の皆様が気持ちよく意見をだせる環境を大切にし、引き続き配慮してまいります。皆様にとって有意義な場となるよう努めてまいりますので、どうか引き続きご協力をいただけますと幸いです。
<ul style="list-style-type: none"> ・小茂根・東新町の交通課題にフォーカスすることをもっとはっきりと言っていたきたい。2020年法改正で公共交通を再構築していくことが自治体の努力義務となったばかりなので、進め方も手探り状態なのではと推察する。至らなければ修正して再度行動していけば良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見をいただきましてありがとうございます。 ・2020年の法改正は特に交通不便地域に対する施策を重要視していますが、東新町・小茂根地域のように公共交通サービス水準が相対的に低い地域への取り組みも求められていると認識しています。 ・この地域特有のニーズに合わせた対応が今後も重要であり、皆様のご意見とアンケートの解析結果を踏まえながら、皆様と共に新たな交通について検討してまいります。

参加者意見要旨	事務局の考え方
<ul style="list-style-type: none"> • 自宅から 1 k m圏内の移動より、この地域から区の中心部等の他地域への行きにくさの対策を重視して継続的に議論していただきたい。例えば新道が完成するまでの交通不便さについてどのような施策が考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> • ご意見をいただきましてありがとうございます。 • 私ども事務局の立場の者も場所は違いますが、それぞれ一人ひとり、住居を構えて住民として暮らしています。その感覚の中では、自宅から 1 k m 圏内に駅はあるものの、バス便がなく自転車や徒歩での移動が主となることは、不便を感じる要因の一つになり得ると認識しています。 • 区の中心部は東武東上線大山駅付近のことと思われませんが、こちらへのアクセス向上は、現在の大山駅付近の道路状況では物理的に対応が困難な状況です。 • このため、整備が進められている都市計画道路や駅前広場などの整備完了を見据えた対応と、現に不便を感じる方の多い移動への対応とを分けて考える必要を認識しています。また、地域から距離が離れますと、乗り物の所要時間が伸びて運行間隔が開き、更に道路渋滞の影響も受けるなどにより、鉄道の活用も選択肢となってきます。 • このほか、新たな交通手段を持続可能なものとするためには、その運行経費をどのように確保するかも大切です。利用者の皆様には一定の負担をお願いすることは避けられないため、料金に見合った価値のあるものと感じて頂けるよう、皆さんと研究していきたいと考えています。引き続きご理解とご協力をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> • メトロ 1 番出口のエレベーター設置について、区とメトロ本社との交渉経過についてご説明いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 区のバリアフリー担当課が、東京地下鉄株式会社へ要望を伝えています。 • なお、第 1 回意見交換会での出席者の方のご発言もありましたが、設置場所の確保が課題と聞いております。

参加者意見要旨	事務局の考え方
<ul style="list-style-type: none"> • アンケートの回収率の低さが、アンケート調査の内容にあると考える。 • 令和5年度のアンケート結果と意見交換会で述べた意見がアンケートに反映されていない、自宅から1 kmの移動の困難さを把握することに差し替えられた。自宅から1 km以内の最もよく使う駅への移動について困った人は40%と多く、この地域から他地域への移動の困難さが浮きぼりになった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 貴重なご意見をありがとうございます。 • アンケートは多くの方にご回答いただきたいのですが、昨年度のアンケートでも10%後半～30%台の回答率という状況です。これからも引き続き、多くの方にご回答いただけるよう努めてまいります。 • 昨年度のアンケートで多くの方が回答された最寄り駅やその付近までの移動に対する不満について、より詳細に伺うためのものが今回のアンケートです。アンケートの集計結果を踏まえながら、この移動の不満の解消をどのように図っていけるか、地域の皆様とともに検討を進めていきたいと考えていますので、引き続きご協力をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> • 当日配布予定の資料を事前に送って頂き、資料の説明時間を短縮し、意見交換の時間を長くっていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 貴重なご意見をありがとうございます。事前に資料をお送りし、意見交換会での議論に向けてより充実した時間を確保したいというご要望は確かに大切です。 • 次回は、資料を事前にご提供して当日の説明時間を短縮し、意見交換の時間を増やせるよう努めてまいります。引き続きご協力をお願いします。